創薬・バイオ× AI とアンサンブル創薬の勃興に対応する
バイオ投資の目利きをケース・スタディに基づいて行う
人材開発プログラム。
慶應大学先端生命科学研究所での実習に加え、
斯界のキーパーソンと議論する充実のカリキュラムをご用意。
先端研究者や有望ベンチャー、投資家、政府関係者との
強固なネットワークも築けます。

第 9 期
（通算 26 期）

バイオインベストメントギルド（BIG）

主催：（株）宮田総研

Bio Investment Guild

責任ある積極財政を謳う高市政権の本格稼働による日本への積極投資が始まった。円高転換による、国内への資金還流もイノベーションを後押しする。しかし、遷延化するイラン戦争やウクライナ戦争、さらには米国中間選挙の帰趨によって世界の流動化が加速されています。難しい時代に直面していますが、企業成長を支える軸はあくまでも新しい商品やサービスを生み出すイノベーションであります。わが国政府も重点支援分野として、創薬とバイオを選定し、投資を促進することを決めました。バイオ・創薬を含む17分野を合わせ370兆円も資金を注入する積極的な政策を掲げました。

新型コロナ・パンデミックを救済するための100兆円以上の政府による資金投入により、30年間のデフレが打破され、名目GDPは急成長し始めました。同時に、わが国はインフレ経済に突入、従来の守りの経営から攻めの経営に企業が転じる環境が整いつつあります。円安によってため込んだ企業の内部留保を、いよいよ政府資金を合わせた官民投資によってバイオや創薬分野を強化する時を迎えたのです。

今や世界の新薬の8割が3000社以上バイオ・ベンチャーによって創製され、100数10社に過ぎない製薬企業は創薬の主人公の座から追われています。ドラッグ・ロスの一つの重大な原因に、我が国のバイオ。ベンチャーの起業数と新薬開発力の不足があることが認識されてきました。これを根本的に解決するためにはバイオ産業や世界の未来を見通し、事業や起業を推進する目利き人材養成が不可欠なのです。また、2022年から火が付いたAI開発競争はとうとう創薬分野にも波及し、製薬企業やバイオ企業がAIを駆使することは当たり前になりつつあります。加えてGoogle社、Amazon社、OpenAI社、Anthropic社などハイパースケラーやAI開発の巨人達も創薬に一斉に参入、メガファーマとの提携も盛んになりました。数年前には空想に過ぎないと言われていた抗老化薬の治験すらこうした新規参入企業が着手、パラダイム・シフトが起ころうとしています。こうした新潮流にも今回は目配りを怠らない計画です。

既に26年目を迎えたバイオ・インベストメント・ギルドでは、バイオ研究開発、投資、産業政策のキーマンを講師として招き、近未来のバイオ産業やバイオ研究を洞察する議論を参加者と展開いたします。また、更に成長しつつある鶴岡バイオクラスターにおける実習とバイオ・ベンチャーの若き経営者との交流会も予定しています。業種を超えた参加者の交流は、視野を拡大、イノベーションを育むネットワークを形成するのです。

この機会に、貴社の有望な人財のご参加をいただき、未来を拓くバイオ・ベンチャーのコミュニティに是非、貴社がご参加いただく契機としていただきたく、第９回BIGを案内申し上げます。

株式会社 宮田総研 代表取締役社長　宮田　満

プログラム概要

第9期 バイオインベストメントギルド（BIG）

目　的

バイオベンチャーに投資を行い、バイオ産業を成長させる投資人材を育成する。
国内外の Best&Brightest の才能との連携を提供し、技術突破を実現する。

カリキュラム

1　セミナー

原則第２金曜日　18時から20時半＋講師を囲んだＶ懇親会
単なる座学ではなく、討議を中心に展開
毎回、市場や技術に関する俯瞰的レビューと投資のリスクを解説
最先端の研究者と有望ベンチャーのキーマンを講師として招聘
講義のハンドアウトをクラウドで可能な限り提供します

2　実 習　鶴岡までの往復交通費は別途負担願います、参加者は抽選で選抜）

2027年11月予定、山形県鶴岡市の慶應義塾先端生命科学研究所で、遺伝子操作から最先端のメタボローム解析までを体験します。初歩の初歩から説明いたしますので、まったく未経験の方でも参加できます。実際に実験して、バイオを体感することが重要です。これによって実際の技術の落とし穴を見抜く力を養います。また、最先端のバイオの講義に加えて、同研究所からスピンアウトした９社のバイオ・AIベンチャーとの交流も行います。鶴岡市が全面的に支援。新型コロナによっては開催できない場合もあります。

3　参加会員専用メーリングリスト

講義の案内や実習のオリエンテーションなどをお知らせいたします。

日程・会場

日　程：

2027年７月９日（金曜日）から開始

原則第二金曜日（8月、12月は休講）
WEB会議は18時より20時半＋リモート懇親会、リアルの場合は16時から18時半

会　場：

WEB会議、年3回程度のリアル・WEBのハイブリッド開催を予定

費　用

1名　20万円（税別）

本プログラムの参加は企業単位で承ります。参加費用は受講生１名当たり20万円。2名参加希望の場合は40万円です。3名以上の参加は原則としてお受けできません。１名の受講生が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

一人が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。
支払い方法：4ページ目の申込書をPDFでメール添付送信していただいた後、請求書を送付させていただきます。指定の口座にお振込み願います。

Bio Investment Guild

カリキュラム

第9期 バイオインベストメントギルド(BIG)

2027年

7月	**オリエンテーリング** リアル・WEBハイブリッド・セミナー 参加者自己紹介プレゼン＋「バイオ産業の最新潮流」
8月	休　講
9月	マルチオミックス×AIは医療・創薬をどう変えるのか？ （順天堂大学、FornesLife）
10月	AI創薬は何処まで進むのか？ （理論創薬研究所、SyntheticGestalt）
10月	AI創薬の実用化の最前線 （NEC、富士通/Paradigm）
11月中旬	鶴岡実習 バイオ実習（メタボローム等）と鶴岡クラスターのベンチャーと交流 （慶應義塾大学先端生命科学研究所）

2028年

1月	新春、2028年のバイオ・ベンチャー大予測 リアル・ハイブリッド （2027年に上場したバイオベンチャー企業のCEO/CFO）
2月	デザイン細胞の実用化 （カクサスバイオ、住友ファーマ）
3月	抗老化薬の実現性 （東邦大学、東大医科研ベンチャー）
4月	中枢神経疾患開発のブレイクスルー （筑波大学、エディットフォース）
5月	アンサンブル創薬の夢と現実 （富士フイルム、キャストバイオ）
6月	ファイナル・レクチャー＋全員討議 リアル＋ハイブリッド （2026年/27年の優秀バイオ・ベンチャー CEO）

講師及び招聘企業は予告なく変更する場合があります。ご了承願います。

Bio Investment Guild

2027年7月9日金曜日から開催開始

第9期 バイオインベストメントギルド(BIG)

申込書 (2027年－2028年) 55社限定先着順

企業単位で申し込みを承ります。下記に必要事項を記入し、PDFをメールに添付して送信願います。

申込期限：2027年6月18日(金)必着

送信先：manman5453@hotmail.co.jp (宮田宛て)

管理 No.VC

会社名			
所属部署			
申込者氏名	セイ 性	メイ 名	
ご住所	□□□－□□□□		
TEL	―　―	FAX	―　―
E-mail			
請求書送付方法	どちらかにチェックを入れてください。 □ メール添付　□ 郵送		
請求書送付先 会社名			
請求書送付先 所属部署			
請求書送付先 ご担当者名	セイ 性	メイ 名	
請求書送付先 ご住所	□□□－□□□□		
請求書送付先 TEL	―　―	FAX	―　―
請求書送付先 E-mail			

お問い合わせ (株)宮田総研　宮田　満　manman5453@hotmail.co.jp　090-2435-2114